

きもの豆知識

汚れの種類と対処法について

着物を着る場面が増えてくると、着た後のお手入れやいろいろな心配事も増えてくると思います。今回は着物の汚れの種類と対処法、予防法について少し触れていきたいと思います。

汚れの種類と対処法

汗ジミ

夏場など暑い季節や、汗をたくさんかいた着物は、時間がたつにつれ汗ジミが浮いてくることがあります。着用後にクリーニングをして汗抜きをしてもとりきれない汗ジミが浮いてくる場合があるので定期的にチェックが必要です。保管している着物に汗ジミが浮いてきた場合でも早めに対処すればきれいになるので、専門家に相談しましょう。

衿汚れ

ファンデーションなどの油汚れや皮脂汚れはつけたばかりの時は比較的とりやすいのですが、ほかっておくと着物の染料が抜けてしまうことがあるので早めのクリーニングが必要です。

汗ジミや衿汚れなどをほかっておくと・・・。



黄変

黄変とは、汚れ等の成分が時間が経つごとに酸素と結びついて酸化し、黄色いシミになることを言います。黄変は時間が経てば経つほど黄色いシミはオレンジ・茶色と濃い色に変化します。着物が黄変するもうひとつの原因は「カビ」です。着物に生えやすいカビには「白カビ」があります。表面に白いポツポツができていた、フワツとした白カビを見たことがあるという人も多かもしれませんね。カビ菌はこのような表面のカビを取るだけでは根絶できません。そしてカビが作ったシミは少しずつ酸素と結びついて、濃い「黄変」に変化してしまいます。黄変するとかなり、修復に手間もお金もかかってしまいます。そうなる前に早めの対処が大切です。

歌舞伎のススメ ~新橋演舞場の歴史~

新橋演舞場の新築開場は1925(大正14)年4月のことで、京都や大阪には立派な演舞場や歌舞練場があるのに、東京にないというのは残念だという事で、川村徳太郎(新橋花柳界の重鎮で、置屋森川家主人)の発案で、新橋演舞場株式会社を設立したのが起源といえます。現在新橋演舞場が建てられているこの場所は、偶然にも芝居狂言『加賀見山旧錦絵』のお初が、主人尾上の敵である岩藤を討った松平周防守の下屋敷跡でした。建設以前は、狭い川に面した荒れ果てた空き地で、草木もうっそうと茂り、夜は道行く人も珍しい実に不気味なところだったといえます。そこに定員1,679人の三階建ての立派な劇場が建てられたのです。多くの優れた専門家が結集し1923(大正12)年に着工。その途中で関東大震災に遭い、一時工事を中止するハプニングもありましたが、20ヶ月にわたる全工事を完了し開場にこぎつけました。当初目的だった新橋芸者の技芸向上を披露する場として春秋二季に「東をどり」を主に公演。

1940(昭和15)年新橋演舞場は松竹株式会社と興行契約を結び、松竹が興行面を受け持って松竹傘下の主要劇場となりました。一時期、第二次世界大戦では空襲のため、焼失したなど、不運もありましたがゆとりある客席空間、正面玄関のレンガなど、旧演舞場設計の精神が大切に1982年に建造され受け継がれています。



あそびの玉手箱

最近、仕事前、お昼休憩、休日など、運動とリフレッシュのために、自転車に乗っています。実を言いますと、学生の頃は自転車で走るのが好きで、野宿しながら沖縄1周したり、いろいろなところに行っていました。その頃の自転車を引っ張り出してきて、秋の風景を楽しんでいます。休みの日だと20~30km、平日だと8~10km走っているのですが、『ダイエットや健康のために運動しなくてわ!』というわけではなく、のんびりの田舎の風景を楽しみながら癒しを感じながら走っています。もちろん、皆さんが自転車を始めようと思った場合、ダイエット効果があるかということに重きをおかれる方も見えると思います。自転車運動は有酸素運動と筋トレを組み合わせたような運動といわれ、漕ぎ終わった後の体の疲労度は、ももはもちろんかなりパンパンになりますが、腕から肩、腰、お腹などを中心に全身に疲労感が残ります。つまり全身運動ができているということだと思います。そして何よりも、外の空気と太陽をあびてながら風を感じて、とっても心がリフレッシュします。何か運動をと思われている方は候補に入れてみてはいかがでしょうか。



~レンタルギャラリー~

趣きある和の空間に作品を展示してみませんか?

趣のある和の空間で、作品を飾ってみませんか?個人の作品から、趣味の教室(お花、写真、書道、絵画、手芸など)の作品展など、文化・芸術を育む場を提供したいという思いから、竹次郎カフェを開催の日程(毎月5日間)に限り、レンタルギャラリーとしてお使い頂きます。

レンタル期間:竹次郎カフェ開催日(毎月5日間)

料 金 :1500円(5日間)

作品を販売する場合は売上げの10%別途頂きます。

※カフェ開催日は事前にお問合せ下さい。

☎ 0563-35-0039 大橋まで

竹次郎~ TAKEJIRO CAFE ~ コラム



皆さんにいつも楽しんでいただいている竹次郎カフェも11月は紅葉が始まり一番いい時期です。青々と茂った庭もいいですが、紅葉に色づいた竹次郎カフェには是非お越しください。

着付教室 12回

1回1000円

かわちやの着付教室は、それぞれの目的やスケジュールに合わせたカリキュラムを組んでいきます。

かわちやの
ワンポイント着付教室
1,000円
半巾帯の結び方など
ピンポイントでお教えます。

お気軽にご相談ください。
お問い合わせは 大橋幸子まで
TEL 0563-35-0039

イベント案内

ギャラリーカフェ

竹次郎 TAKEJIRO CAFE
11月23日(木)~27日(月)

秋の和装小物展を開催します。